

## 2026年度 事業計画書

### 1. 基本方針

痛風や高尿酸血症の発症機序や治療に関する我が国の研究は、原因発見・ガイドライン発表・創薬などいずれの分野でも世界をリードしているが、痛風の原因物質である尿酸についてはまだまだ未解決の事も多く、更なる研究が期待されている。

当財団は研究者への研究助成金の支援を中心に、医師などを対象とした研修や一般の方々への啓発活動を事業の3本柱とし、国民保健の向上へ寄与することを活動の基本理念としている。

一方で財団の事業を運営するための資金である製薬会社などの企業団体や個人からの寄付は減少傾向が続いている。その対策として地道な寄付活動、運用の見直しによる財務収支の改善に取り組む。

また医師や一般の方々への啓発活動を活性化するため、ホームページの充実、他団体との協働による情報発信の多角化に取り組んでいく。

### 2. 計画内容

#### (1) 研究助成

##### ◇対象

痛風・尿酸・核酸代謝に関する研究でその研究成果が疾患及び病態の成因と治療・予防に有用な影響を与えると期待される臨床的あるいは基礎的な研究課題を挙げる団体・共同研究グループ および個人を対象として広く応募を受け付ける。

◇2026年度受付期間：2026年9月1日より同10月31日

◇助成金総額予定：800万円

##### ◇選考方法

専門分野などを考慮して理事会で選定した選考委員に理事長が委嘱し選考を行う。各選考委員は提出された応募資料の研究課題を予め採点し、その集計結果をもとに12月初旬の選考委員会に於いて審議を行い、助成対象者と個々の助成金額を決定する。

##### ◇研究成果の検証

当該助成による研究成果検証のために、2028年3月までに関係論文の提出を求める。

#### (2) 痛風・尿酸研修会

全国の医師や薬剤師などの医療関係者等を対象とし痛風や尿酸についての研究成果に関する講演と診断や治療についての研修を行い、更に講師との質疑応答を通じて理解を

深めることで診療普及に役立てることを目的としている。

2026年度は9月27日(日)に日本教育会館において第37回痛風・尿酸研修会を開催する。後日講演内容を録画したオンデマンド配信による研修も予定している。詳細については6月頃までに決定し公表する予定。

(3) 痛風協力医療機関の拡充

患者や一般の方からの問い合わせが多い医療機関の紹介依頼に適切に対応するため、痛風協力医療機関の拡充を図る。都市部だけでなく全国各地の患者等に対応できるよう協力医療機関の充実を図る。

同時に協力医療機関とのコミュニケーションを活性化し研修会などへの積極的参加や診療ガイドラインに沿った診療体制の確立などに向けて活動の充実を図っていく。

(4) ホームページによる啓発事業

「理事長通信」「痛風・尿酸ニュース」「医学の地平線」などのコラムにより、痛風・尿酸関係の最新情報を定期的に更新して医療関係者・患者・一般の方への情報提供を引き続き実施。またホームページの充実を通して情報発信を強化、痛風や尿酸の基礎知識から医療機関の紹介まで、医療関係者のみならず患者に役立つ情報の提供を心掛けていく。

(5) 小冊子・会報の発行

痛風や尿酸に関する情報を要約している小冊子は内容の更新も視野に入れつつ、協力医療機関などを通じて希望する患者へ行き渡るように配布する。また研究成果や最新医学情報などを掲載した会報を12月に作成し、賛助会員や協力医療機関など300近くの方々へ送付することで情報伝達を図る。

(6) 一般の方からの質問に対する対応

患者や一般の方からの質問や問い合わせは引き続き多く、その内容は医療機関の紹介依頼から始まり食事や飲料に関する注意点や痛風の治療薬に関する事など多岐に亘る。各々の質問に対しては痛風協力医療機関の紹介や専門分野の医師の助言を伝えるなど啓発助言活動は今後もきめ細かく対応していく。

以上